

平成31(2019)年度

学生募集要項

大学院工学研究科(博士前期課程)

公立大学法人 前橋工科大学



Maebashi Institute of Technology

〒371-0816

群馬県前橋市上佐鳥町460番地 1

前橋工科大学 学務課学生係 (入試担当)

TEL 027-265-0111 (代表)

027-265-7361 (学務課直通)

FAX 027-265-3837

E-Mail nyushi@maebashi-it.ac.jp



URL: <http://www.maebashi-it.ac.jp/>

目 次

前橋工科大学大学院工学研究科入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）

博士前期課程各専攻入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）…………… 1

前橋工科大学大学院工学研究科各専攻の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)及び学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）…………… 3

1. 募集人員……………	7
2. 入試種別と日程等……………	8
3. 出願資格……………	9
4. 入学資格審査……………	10
5. 出願……………	10
6. 入学検定料……………	11
7. 出願書類……………	11
8. 選抜方法及び試験日程等……………	13
○ 建設工学専攻	
○ 建築学専攻	
○ 生命情報学専攻	
○ システム生体工学専攻	
○ 生物工学専攻	
9. 試験会場……………	22
10. 合格発表……………	22
11. 入学手続き……………	22
12. 外国語(英語)試験……………	23
13. 受験上の注意事項……………	24
14. 入学に係る経費……………	24
15. 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談……………	25
16. 個人情報の取り扱い……………	25
博士前期課程開設研究室一覧……………	27

願書等：A票 入学願書、B票 受験票、C票 写真票、D票 志望理由書、
E票 研究計画書、F票 身元保証書（該当者のみ）、G票 入学検定料
納付証明書、入学検定料振込依頼書、提出書類送付用ラベル

天候等の理由で試験の実施に変更等がある場合は、本学ホームページに掲載しますので、必ず確認してください。

前橋工科大学大学院工学研究科

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

博士前期課程

国内外を問わずに、独創的な発想力と、研究に対する実行力を持ち、専門分野を究めて修士（工学）の学位を取得したいという意欲のある人材を求めています。

博士前期課程各専攻

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

〔建設工学専攻〕

① 教育理念

建設工学専攻は、地域防災分野、地域計画分野、および地域環境整備分野を3つの柱とし、地域の地盤特性の解明や、構造物に関する技術開発、地域社会における種々の計画課題への対応、循環型社会の形成を目ざした環境整備に関する技術開発等を担う高度専門技術者、研究者の養成を目指しています。

② 求める学生像

次のような資質を持った人材を求めています。

- ・社会基盤を構成する道路、河川、港湾、鉄道、都市施設等々に生じている諸問題や関連する環境問題を工学的視点で調査、研究したことがある

③ 評価の観点

専門的な諸問題を解決する能力を重視するため、材料・構造分野、地域計画分野、および地域環境整備分野の専門知識と英語の能力により評価します。また、技術開発等を担う技術者・研究者となりうる資質を確認するため、面接により評価します。

〔建築学専攻〕

① 教育理念

建築学専攻は、建築計画・意匠分野、建築構造・材料分野、および建築環境・設備分野を3つの柱とし、自然と調和した生活環境を構成するデザインと技術を教育研究します。建築デザインを社会的行為として捉え、より高度化・複雑化する建築構造と環境工学を理解し、自由な建築空間の創造に寄与するとともに、倫理観を備えた建築家、高度専門技術者、研究者の養成を目指しています。

② 求める学生像

次のような資質を持った人材を求めています。

- ・科学、技術、芸術、経済などの幅広い知識を備え、かつ専門分野を究めたい
- ・都市や建築、インテリアの設計・施工・監理および行政、研究等に関わる専門業務に従事したい

③ 評価の観点

建築計画・意匠分野、建築構造・材料分野、および建築環境・設備分野の専門知識と英語の能力により評価します。また、多角的視野を備え、客観的なデータに基づいた論理的思考力、分析力、判断力、コミュニケーション力等の能力、さらに独創的な発想とそれをリアライズできる持続力や探求力を有しているか、面接等により評価します。

〔生命情報学専攻〕

① 教育理念

生命情報学専攻は、知的情報処理分野と生命情報科学分野を2つの柱とし、生命現象に

ヒントを得たプログラムの作成等による情報学の課題解決と、情報処理技術を活用し、生命現象を解明して行くための教育・研究をおこないます。

生命科学と情報科学の融合により双方の発展に寄与するとともに、高い倫理観を備え、優れたコミュニケーション能力を持つ高度専門技術者や研究者の養成を目指しています。

② 求める学生像

次のような資質を持った人材を求めています。

- ・生命科学、情報科学等の幅広い知識を備え、その融合と応用に興味を持ち、専門分野を究める意欲がある
- ・将来生命科学、創薬、医療、情報科学等の研究や開発に関わる高度専門業務への従事を希望する

③ 評価の観点

多角的視野を備え、客観的なデータ解析に基づいた論理的思考力、分析力、判断力、コミュニケーション能力等を、生命科学、情報科学の専門知識と英語の能力により評価します。また、独創的な発想力と研究を地道に行うことができる忍耐力を有していることを確認するため、面接により評価します。

[システム生体工学専攻]

① 教育理念

システム生体工学専攻は、システム神経工学分野、生体情報計測システム分野および生体機能制御システム分野を3つの柱とし、社会情勢や健康長寿の社会的ニーズを的確に把握し、それを工学シーズと融合させることができる高度で知的な素養を備え、多様に变化する社会で柔軟に活躍できる高度専門技術者や研究者の養成を目指しています。

② 求める学生像

次のような資質を持った人材を求めています。

- ・工学と医科学の学際分野で真に活躍できる技術者・研究者として、学部で学んだ専門知識や技術を一層発展させたい
- ・電気電子・機械・情報・計測制御等の工学基盤技術を駆使し、生体システムの理解を究め、人の健康や福祉に貢献したい
- ・生体システムのメカニズムを探求し、工学に応用したいと考えている

③ 評価の観点

コミュニケーション能力を身につけていて、独創的な発想と探求心を持ち、高度な研究やその応用を目指す実行力を、面接、専門知識および英語の能力により評価します。

[生物工学専攻]

① 教育理念

生物工学専攻は、生物科学分野と生物利用分野を2つの柱とし、生物の持つ精巧かつ多様な機能を効果的に活用し、健康・医療分野、食分野、環境分野に於ける21世紀の課題を解決する高度専門技術者や研究者の養成を目指しています。

② 求める学生像

次のような資質を持った人材を求めています。

- ・社会、経済、技術等の幅広い分野の知識を有し、生物工学分野で高度な知識と技術を修得したい
- ・生物の持つ高度の機能について強い興味を持ちその原理を解明し、新しい産業技術を創造したい
- ・生命科学分野に於いて研究を行うに十分な基礎知識を有している
- ・広い視野を持ち、客観的なデータに基づき論理的に解決方法を見出し、それを伝える能力を有している
- ・独創的な発想力を持ち、地道な研究開発を行う実行力と忍耐力を有している

③ 評価の観点

生命科学、生物工学の専門知識と課題を深く理解し、それを伝えるための基盤となる大学学部で学ぶ基礎的専門知識と英語を含む基本的なコミュニケーション能力を有していることを確認するため、面接、専門知識および英語の能力により評価します。

教職課程

生物工学専攻において、高等学校教諭専修免許状(理科)を取得することができます。

教職課程は、教員養成に対する社会的要請を踏まえ、学部で学んだ専門分野の基礎能力と教育に対する理解と実践的な指導力をベースに大学院での講義や研究活動を通して、高度な専門的職業能力と現場での応用力を備え、それらの力を教育に活かせる教員の養成を目指しています。

次のような資質を持った人材を求めています。

- ・様々な視点に基づき物事の本質を見極め、解析する能力をもっている。
- ・自ら課題を設定し、修得した知識と基礎的能力を活用してその課題を解決できる。
- ・教育現場での活動に根気強く主体的に取り組むことができる。

前橋工科大学大学院工学研究科各専攻の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)及び学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)は次のとおりです。

[建設工学専攻]

【カリキュラム・ポリシー】

建設工学専攻では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・建設工学専攻のカリキュラムは、研究科共通科目に加え、材料・構造、地域計画、地域環境整備の3分野における専攻開設科目で構成し、先進・先端技術を含めた高度な専門知識を取り扱う科目を揃えている。
- ・独創性・創造性及び多元的・多層的思考を涵養するため、研究科共通科目と専攻開設科目あるいは専攻開設科目間の関連性を考慮して履修するよう指導する。
- ・修了に必要な研究科共通科目・専攻開設科目の単位を1年次に修得するように指導し、それらの座学・演習により主に問題解決能力と統合化能力、及び1、2年次の特別研究における実験・実習・プロジェクトなどを通してエンジニアリングデザイン能力をそれぞれ涵養する。
- ・情報伝達・意志疎通に関わる能力の向上を目的として、特別研究より得られた成果を学会などで発表するよう指導する。
- ・特別研究より得られた成果を指導教員らと十分に議論して修士論文としてまとめ、その過程を通じて論理的思考能力と継続的学習能力の向上及び現象・理論の理解の深化を図る。

【ディプロマ・ポリシー】

建設工学専攻では、所定の年限在学し、専攻の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、修了に必要な単位数を修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格し、以下に示す能力を有すると認められたものに修士(工学)の学位を授与します。

- ・大学の学部教育で培った教養と土木工学の分野に関わる専門知識などを統合化する能力に加え、当該分野に関わるより深い学識と理解、並びに先進・先端技術に関する知識を身につけている。
- ・工学技術領域の情報からプロセス、システム、技術などに関わる問題を見出し、その解決に向けて多元的・多層的に思考し、最適な対策を導き出す能力を有する。
- ・高度な専門職業に就く技術者として、専攻修了後も自身で新たな知識や能力を獲得し、自主的に継続して学習していく能力を修得している。
- ・修得した教養・専門知識などを統合化し、様々な制約条件下で他者との情報伝達・意志疎通を図りながら実現可能なプロセス、システム、技術などを新たに提案することができる。

【建築学専攻】

【カリキュラム・ポリシー】

建築学専攻では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・ 建築計画・意匠分野、建築構造・材料分野、建築環境・設備分野の3分野の専攻開設科目と研究科共通科目を配置し、それぞれ自身の分野だけでなく、より広範囲な知識を身につけ、総合化力を養う。
- ・ それぞれの自身の分野においては、論理的思考力からコミュニケーション力を身につけるため、研究科共通科目と各分野の専攻開設科目を有機的に結びつけるカリキュラムの取得を指導する。
- ・ 1年次には、特別研究を除く広範囲な知識を習得し、インターンシップなどの社会人としての倫理観、人格を形成する必要能力を身につける。
- ・ 2年次には、特別研究に専念し、1年次または2年次で得た研究成果を社会に積極的に発信し、それらの成果を修士論文か修士設計としてまとめる。

【ディプロマ・ポリシー】

建築学専攻では、所定の年限在学し、専攻の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、修了に必要な単位数を修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格し、以下に示す能力を有すると認められたものに修士（工学）の学位を授与します。

- ・ 科学、技術、芸術、経済などの幅広い知識を総合化し、実際に応用できる力を身に付けている。
- ・ 多角的視野を備え、客観的なデータに基づいた論理的思考力、分析力、判断力、コミュニケーション力を身に付けている。
- ・ 独創的な発想とそれをリアライズできる持続力や行動力を身に付けている。

【生命情報学専攻】

【カリキュラム・ポリシー】

生命情報学専攻では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・ 情報ネットワーク分野、ゲノム情報分野においてそれぞれの専攻開設科目を配置し、それぞれの専門知識を深めるとともに、自身の専門でない分野の科目を履修することでより広範な知識を身につけることができる。
- ・ 1年次においては、それぞれの研究室で専門的な研究を進める上での基礎となる知識の習得、そのために必要な学術論文を読み進める能力、また、インターンシップなどにより社会人としての人格を形成して行くために必要な能力を身につける。
- ・ 2年次においては、特別研究により専門的な研究に専念する。研究成果を修士論文へとまとめて行く過程で、自身の考えを構築し、外部へ発信するためのプレゼンテーションの方法を学ぶ。

【ディプロマ・ポリシー】

生命情報学専攻では、所定の年限在学し、専攻の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、修了に必要な単位数を修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格し、以下に示す能力を有すると認められたものに修士（工学）の学位を授与します。

- ・ みずからの課題に深く向き合い、論理的な思考により問題解決への道筋を導き出すことができる。
- ・ 国際的な視野を持ち、英語により記述された論文や資料を読み、理解することができる。
- ・ 文書、および口頭でのプレゼンテーションにより、文献などを適切に引用しながら、自分の考えを明確に伝えることができる。
- ・ 情報ネットワーク分野では、計算機システムのはたらきと仕組みに関する専門的な知識を有し、与えられた課題に最適な計算機環境・言語・アルゴリズム等を選択し、プログラムの記述等のシステム開発により課題の解決を図ることができる。

- ・ゲノム情報分野では、自然現象に対する深い興味を持ち、生物学関連分野の特定の領域に関して専門的な知識を有し、計算機プログラム、統計学的手法などの情報処理技術を活用して課題の解決を図ることができる。

[システム生体工学専攻]

【カリキュラム・ポリシー】

システム生体工学専攻では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・システム生体工学に関連する高度な学問をより専門的に学ぶことができるように、システム神経工学分野、生体情報計測システム分野、生体機能制御システム分野を3つの柱とし、医工学の立場から高度で最先端の理論を修得できるようにする。
- ・専門的な知識を実際に応用して実践できる力を身に付けさせるための教育を行い、論理的思考能力や自主性を伴った課題探究能力、問題解決能力を高める。
- ・特別研究では、専攻研究分野における課題を主体的に発掘させ、研究目標の設定から効率的な解決に至る一連のプロセスの遂行能力を修得できるようにする。

【ディプロマ・ポリシー】

システム生体工学専攻では、所定の年限在学し、専攻の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、修了に必要な単位数を修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格し、以下に示す能力を有すると認められたものに修士(工学)の学位を授与します。

- ・システム神経工学、生体情報計測システム、生体機能制御システムの研究分野における高度な専門知識・技術を備え、応用することができる。
- ・工学と医科学の融合分野において創造性豊かな優れた研究・開発能力を有する。
- ・社会的要請に応えられる問題発見・解決能力と学際的対応力を有する。
- ・国際的な視野を持ち、論理的な思考能力、プレゼンテーション能力、およびコミュニケーション能力を有する。

[生物工学専攻]

【カリキュラム・ポリシー】

生物工学専攻では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・1年次には、研究科共通科目とともに、専攻開設科目の中から各自の研究分野の特論を中心に履修し、特別研究を遂行する上で必要となる各研究分野の幅広い専門的知識や技術を習得する。
- ・専攻開設科目の生物工学特論Ⅰおよび生物工学特論Ⅱは、生物工学分野の産業および研究を専門とする外部講師により、オムニバス形式で実施される。生物工学分野の研究について、実践的なことを中心に幅広く最新の知識や情報を習得する。
- ・専攻開設科目の生物工学特別演習Ⅰおよび生物工学特別演習Ⅱでは、1年次には各自の研究テーマに関連する研究について、2年次には各自の研究テーマまたは専門分野以外の研究について、調査、発表、討論を実施する。
- ・特別研究では、研究テーマを決定し、研究の遂行および研究成果の取りまとめや修士論文の作成を通じて、各自の専門分野の知識と技術を習得する。

【ディプロマ・ポリシー】

生物工学専攻では、所定の年限在学し、専攻の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、修了に必要な単位数を修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格し、以下に示す能力を有すると認められたものに修士(生物工学)の学位を授与します。

- ・生物工学に関連する問題を様々な観点から注意深く観察し、解決するために必要な検討事項を導き出して整理することができる。
- ・課題解決のために列挙した検討事項について、よりの確な方法で実証するための方法を選択できる。

- ・課題解決のために必要な実験計画を立案し、実践することができる。
- ・得られたデータを客観的かつ科学的に解析して、論理的に結論を導くことができる。
- ・導き出した結論や新たな提案をわかりやすく発表、説明することができる。

教職センター

【カリキュラム・ポリシー】

教職課程では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、以下のカリキュラムを開設し、実施します。

- ・自らの研究課題を適切にそして正確に理解し表現するために、多くのプレゼンテーションの機会を設け、各場面で議論することを通して多角的観点から課題の本質を見究める能力を養成する。
- ・教科に関する専門的知見を幅広く深く修得させるために、多くの知見を集め分析させるとともに、得られた知見・結果をもとに教科内容を展望させる。
- ・学校現場を理解するために積極的に高大連携活動や学生実習の TA や所属研究室における実験補助を通して教授法を学ばせ、生徒や学生に接することで実践的教育能力を高めさせる。

【ディプロマ・ポリシー】

教職課程では、所定の年限在学し、本課程の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、教員免許取得に必要な単位数を修得し、かつ、修了に必要な単位数を修得並びに修士論文の審査及び最終試験に合格し、次の能力を有すると認められた者は高等学校教諭専修免許状(理科)を取得することができます。

- ・教員として総合的知見・情報を活用して課題を解析・考察し、解決できる能力をもっている。
- ・教科教育を教授するための高度で専門的な知見と能力を身につけている。
- ・教育実践をとおして得た幅広い視点をもっており学校現場での生徒の指導や探究活動ができる。

1. 募集人員

○建設工学専攻

専攻	分野	募集人員
建設工学	材料・構造 地域計画 地域環境整備	10名

○建築学専攻

専攻	分野	募集人員
建築学	建築計画・意匠 建築構造・材料 建築環境・設備	12名

○生命情報学専攻

専攻	分野	募集人員
生命情報学	知的情報処理 生命情報科学	10名

○システム生体工学専攻

専攻	分野	募集人員
システム生体工学	システム神経工学 生体情報計測システム 生体機能制御システム	10名

○生物工学専攻

専攻	分野	募集人員
生物工学	生物科学 生物利用	6名

上記各専攻の募集人員は、すべての日程区分や入試種別による人員を含んだ合計数です。早期日程における入試での入学手続き者数により、晚期日程における入試での募集人員は漸減いたします。入学手続き者数の最新情報は本学ホームページで確認して下さい。各専攻で募集人員が11月日程までに充足した場合は、2月日程は行わない場合があります。

志願者は、27ページ以降の開設研究室一覧を参考に、研究内容を熟知した上で、必ず指導教員と連絡を取り、出願することの承諾を得てください。

2. 入試種別と日程等

日程	【7月日程】	【11月日程】	【2月日程】
入試種別	・ 一般選抜	・ 一般選抜 ・ 社会人特別選抜 ・ 外国人留学生特別選抜	・ 一般選抜 ・ 社会人特別選抜 ・ 外国人留学生特別選抜
出願期間	平成30年6月18日 ～ 平成30年6月22日	平成30年10月22日 ～ 平成30年10月26日	平成31年1月16日 ～ 平成31年1月23日
事前審査書類 提出期間 (該当者のみ)	— (なし)	平成30年8月27日 ～ 平成30年8月31日	平成30年12月3日 ～ 平成30年12月7日
試験場	前橋工科大学（試験室等は当日に1号館正面掲示板に掲示します。）		
試験日	平成30年7月1日	平成30年11月18日	平成31年2月3日
合格発表日	平成30年7月13日	平成30年11月30日	平成31年2月13日
入学手続期限	平成30年7月23日	平成30年12月7日	平成31年2月19日

3. 出願資格

次のいずれか一つに該当する者とする。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条の大学を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により、大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び大学改革支援・学位授与機構に学位の授与を申請中で平成31年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了し、学士号を取得した者及び平成31年3月までに取得見込みの者
- (4) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- (5) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

ただし、各日程の入試種別における出願資格は次のとおりです。

【7月日程】

・一般選抜

上記の（1）、（2）、（3）、（4）

【11月日程・2月日程】

・一般選抜

上記の（1）、（2）、（3）、（4）、（5）

・社会人特別選抜

一般選抜の出願資格に該当する者で、かつ、次のいずれも該当する者。

- （A）正規職員として1年以上勤務又は平成31年3月31日に在職期間が1年以上となる者
- （B）平成31年4月1日現在、満25歳以上の者

・外国人留学生特別選抜

外国に国籍を有する者で、日本語で行われる授業が理解でき、かつ、次のいずれかに該当する者

（ア）上記の（3）

（イ）大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生であって、次の条件を満たし、かつ本大学院が日本国内の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

- ① 大学教育修了後日本国内または外国の大学、国立大学共同利用研究機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員として1年以上研究に従事した者及び平成31年3月31日までに1年以上研究に従事する見込みの者
- ② 平成31年3月31日までに満22歳に達する者

※ただし、この（イ）によって出願する者は、出願資格の（5）に該当することとなります。資格審査を行いますので、10 ページの「**4. 入学資格審査**」に基づく手続きを行ってください。

なお、建築学専攻については、独立行政法人日本学生支援機構が行う、成績通知日以後の出願が可能な直前とその一つ前の日本留学試験で、次の受験科目を受験している者【受験科目】試験の出題言語は日本語で、①日本語（読解、聴解・聴読解、記述を含む）、②理科（2科目：自由選択）、③数学（コース2）

4. 入学資格審査

「3. 出願資格 (5)」に基づき出願する者は、下記のとおり出願前に審査を受けて下さい。

(1) 提出期間

【11月日程】 平成30年8月27日（月）から 8月31日（金）まで

【2月日程】 平成30年12月3日（月）から 12月7日（金）まで

(2) 提出方法

①郵送：簡易書留・速達とし、提出期間最終日の17時00分必着

②持参：受付時間は、9時00分～12時30分及び13時30分～17時00分

(3) 提出書類

①審査申請書

⑤成績証明書

②審査調書（経歴書を含む）

⑥卒業を証する書類

③志望理由書

⑦研究業績報告書（該当者のみ）

④研究計画書

⑧国籍及び在留資格を確認できる書類（外国籍の者）

⑨審査結果送付用封筒（長形3号の封筒に宛名を明記し、362円分の送付用切手を貼付してください。）

※①、②、⑦については、前橋工科大学ホームページ（トップページ）入試情報≫大学院入試要項≫出願資格審査 [<http://www.maebashi-it.ac.jp/exam/daigakuin-shikaku.html>] よりダウンロード・印刷し③、④、⑥～⑧については、11ページからの「7. 出願書類」を参照してください。

(4) 入学資格審査の結果

【11月日程】 平成30年10月19日（金）に本人に通知発送します。

【2月日程】 平成31年1月17日（木）に本人に通知発送します。

(5) 出願手続き

入学資格審査により大学卒業と同等の学力があると認められた者は、本募集要項に基づき、出願期間内にし出願手続きを行ってください。

5. 出願

(1) 出願期間 ※出願受付は最終日の17時00分出願先に必着となります。

【7月日程】 平成30年6月18日（月）から 6月22日（金）まで

【11月日程】 平成30年10月22日（月）から 10月26日（金）まで

【2月日程】 平成31年1月16日（水）から 1月23日（水）まで

(2) 出願方法

出願書類を前橋工科大学ホームページ（トップページ ≫ 入試情報 ≫ 大学院入試要項） [<http://www.maebashi-it.ac.jp/exam/daigakuin.html>] よりダウンロード・印刷し、必要事項を記入の上、出願書類提出用封筒に入れ、「郵送」又は「持参」により提出してください。

①郵送の場合は、必ず簡易書留・速達で郵送してください。

②持参の場合の受付時間は、土日を除く9時00分から17時00分まで

※出願資格(3)で出願する場合は、事前に確認のため、卒業（見込）証明書（原本）、学位取得証明書（原本）（卒業証明書等で学位取得が確認できる場合は不要です。）及びA票入学願書（コピー）、研究計画書（コピー）を、【11月日程】は平成30年10月9日（火）までに、【2月日程】は平成31年1月8日（火）までに事前に出願先まで連絡した上、提出してください。

(3)出 願 先 〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町460番地1
前橋工科大学 学務課学生係 TEL 027-265-7361
〔受付場所：1号館1階事務局〕

6. 入学検定料 30,000円 ※納入された入学検定料は、返還いたしません。

7. 出願書類

出願に必要な書類		作成方法等	一般	社会人	外国人
A 票	入学願書	黒色のボールペン若しくは、パソコン等で作成してください。必ず黒色のボールペンで自署をしてください。	○	○	○
B 票	受験票	縦4cm×横3cmの写真(正面上半身脱帽背景なし、出願前3か月以内に撮影したもの)の裏に氏名を記入し、写真貼付欄に貼付してください。	○	○	○
C 票	写真票				
D 票	志望理由書	本募集要項の様式をふまえたものであれば、パソコン等で作成したものでも可とします。研究計画書には、指導教員の自署、若しくは記名確認印が必要となります。	○	○	○
E 票	研究計画書				
F 票	身元保証書	外国籍の者は提出してください。身元保証人の条件に該当する人が自筆で記入してください。	該当者のみ		
G 票	入学検定料納付証明書	入学検定料は、『振込依頼書』を使用し、金融機関(ゆうちょ銀行は除く)の窓口にて納入してください。ATMやインターネットバンキングでの納入はしないでください。入学検定料納入後、『入学検定料納付証明書』を貼付欄に貼付してください。受領印のないものは受け付けできません。	○	○	○
成績証明書		出身学校所定の用紙で作成されたものを提出してください。 なお、在学中の場合は、履修中の科目が記載されているもので出願前1か月以内に発行されたものを提出してください。 ただし、「証明書が1通しか発行されない」等の理由でオリジナル(原本)を提出できない場合は、大使館等公的機関で原本証明されたものを提出すること。 日本語又は英語以外の言語で作成された証明書は、自国の公的機関で証明した日本語訳又は英語訳を添付すること。 なお、本学学務課においても原本証明の対応は行うことができる。 【学務課において原本証明を行う場合について】 事前に学務課に連絡の上、オリジナル(原本)を持参し、厳封を受けた書類を出願時に提出すること。 【11月日程】 受付期間:平成30年8月27日(月)～平成30年10月9日(火) 【2月日程】 受付期間:平成30年12月3日(月)～平成31年1月8日(火) (平成30年12月29日(土)～平成31年1月3日(木)を除く) 受付時間:月～金曜日(祝日を除く) 9時00分～12時30分及び13時30分～17時00分	○	○	○

出願に必要な書類	作成方法等	一般	社会人	外国人
卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書	出身学校所定のものを提出してください。 ただし、「証明書が1通しか発行されない」等の理由でオリジナル（原本）を提出できない場合は、大使館等公的機関で原本証明されたものを提出すること。また、<u>取得した学位の記載が無い場合は、学位取得に関する証明書も併せて提出すること。</u> 日本語又は英語以外の言語で作成された証明書は、自国の公的機関で証明した日本語訳又は英語訳を添付すること。 中国の大学を卒業した者は、上記の卒業証明書のほかに「教育部学歴認証中心」が発行する、英文の「学歴認定報告書」も併せて提出すること。機関より発行・郵送された原本を提出すること。オンライン版は認めない。 「学歴認定報告書」の申請・問い合わせ先は、次のとおり。 教育部学歴認証中心（中国） http://www.chsi.com.cn/ CHSI 中国学歴・学籍認証センター 日本代理機構（日本） http://www.chsi.jp/ なお、本学学務課においても原本証明の対応は行うことができる。 【学務課において原本証明を行う場合について】 上記「成績証明書」における取扱と同様とする。	いずれか該当するもの		
学位授与証明書又は学位授与申請に係る証明書〔*〕	学士の学位を授与された者及び授与見込みの者で出願する者は、上記卒業証明書に代えて提出してください。			
TOEIC® L&R公式認定証又はTOEFL®スコア票	外国語（英語）試験で使用する場合は、提出してください。（※確認後写しを取り、受験票とともに返却しますが、返却に対するいかなる責任も本学はとりません。）	該当者のみ		
前橋市の住民票の写し	入学料の減額に該当する前橋市内居住者は、提出してください。なお、配偶者又は1親等の親族が前橋市内居住者の場合は、本人との関係性が分かる書類を併せて提出してください。〔前橋市内居住者については24ページの「 14. 入学に係る経費 （注1）」を参照〕外国人留学生で国籍、在留資格及び在留期間を確認できる書類として、提出してある場合は必要ありません。	該当者のみ		
国籍及び在留資格等を確認できる書類	外国籍の者は、市区町村長の発行する「住民票の写し」（ <u>国籍在留資格、及び在留期間が明記されているもの</u> ）を提出してください。	該当者のみ		○
外国人留学生特別選抜の面接に代わる論文等	面接を論文等に代える場合は、提出してください。（原文が日本語又は英語以外で作成されている場合は、日本語又は英語の抄訳も添付してください。抄訳には、作成者の署名と連絡先が必要です。）			該当者のみ
◎ 建築学専攻のみ 日本留学試験に関する証明書	日本留学試験に関する証明書を提出してください。			○
受験票返送用封筒	長形3号（23.5 cm×12 cm）の封筒に、出願する者の郵便番号、住所、氏名を明記し、362 円分の切手（速達料金を含む。）を貼ったもの。なお、受験票を直接受け取る場合は切手の貼付は必要ありません。	○	○	○
出願書類提出用封筒	提出書類送付用ラベルに、志望専攻・分野、差出人等の必要事項を記入し、角2封筒にはがれないように糊付してください。	○	○	○

- ※ 原本が日本語又は英語以外で作成されている場合は、「原本」、「日本語又は英語で作成された訳文」をそれぞれ提出してください。翻訳が本国の出身学校・大使館などの公的機関（大使館等の政府関係機関や大学等の教育機関を指す）のものでない場合は、内容が原本と相違ないことを、本国の出身学校・大使館等の公的機関で証明を受ける必要があります。海外の公証役場による証明は認めません。
- ※ 出願書類は原本を提出してください。（提出した出願書類は返却できません。）
- ※ 証明書に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、戸籍抄本を添付してください。
- ※ 入学資格審査で、一度提出している書類については、出願時に再度提出する必要はありません。
- ※ A～E及びG票については、「××年度」、「××月日程」に出願年度、日程を記載すること。

8. 選抜方法及び試験日程等

○建設工学専攻 **一般選抜**

（1）選抜方法

【7月日程・2月日程】

書類審査及び面接試験により、総合的にを行います。

試験科目	試験内容等
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。（口頭試問を含む）

【11月日程】

外国語（英語：TOEIC® L&R 又は TOEFL®）試験と専門科目試験、書類審査及び面接試験により、総合的にを行います。

試験科目	試験内容等		
外国語（英語）	TOEIC® L&R 又は TOEFL®の成績に関する書類を提出してください。 ※ 23ページの「12. 外国語（英語）試験」を参照してください。		
専門科目	選択方法	分野 ^{注1}	専門科目
	筆記試験 （各分野に共通して出題される右記の専門科目4科目の中から2科目を選択し、解答する。）	材料・構造	材料・構造力学
		地域計画	地盤工学
		地域環境整備	水理学 土木計画
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。		

^{注1} 分野とは、指導する教員の分野のことです。

（2）試験日程等

■試験日時：【7月日程】平成30年7月1日（日）13時30分から

【2月日程】平成31年2月3日（日）13時30分から

※面接控室に12時30分から13時00分までに入室してください。

<試験実施時間>

専攻	時間割	
	13:00	13:30 ～
建設工学	諸注意	面接試験

■試験日時：【11月日程】平成30年11月18日（日）10時00分から
 ※試験室に9時00分から9時30分までの間に入室してください。

<試験実施時間>

専 攻	時 間 割			
	9:30	10:00	11:30	13:30 ~
建 設 工 学	諸 注 意	専門科目試験	休 憩	面接試験

○建設工学専攻

社会人特別選抜

外国人留学生特別選抜

（1）選抜方法

【11月日程・2月日程】

書類審査及び面接試験により、総合的に行います。

外国人留学生特別選抜では、面接試験は論文など（原文が日本語又は英語以外で作成されている場合は、日本語又は英語の抄訳も添付）に代えることができます。

試験科目	試 験 内 容 等
面 接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。

（2）試験日程等

■試験日時：【11月日程】平成30年11月18日（日）13時30分から

【2月日程】平成31年2月3日（日）13時30分から

※面接控室に12時30分から13時00分までに入室してください。

<試験実施時間>

専 攻	時 間 割	
	13:00	13:30 ~
建 設 工 学	諸 注 意	面接試験

○建築学専攻

一般選抜

（1）選抜方法

【7月日程・11月日程・2月日程】

専門科目試験、外国語（英語：TOEIC® L&R 又は TOEFL®）試験、書類審査及び面接試験により、総合的に行います。

試験科目	試 験 内 容 等	
専門科目	右記分野の6問全問に解答	建築計画・意匠 2問
		建築構造・材料 2問
		建築環境・設備 2問

試験科目	試験内容等
外国語 (英語)	TOEIC® L&R 又は TOEFL®の成績に関する書類を提出してください。 ※ 23ページの「12. 外国語(英語)試験」を参照してください。
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。(口頭試問を含む)

(2) 試験日程等

■試験日時：【7月日程】平成30年7月1日(日) 10時00分から

【11月日程】平成30年11月18日(日) 10時00分から

【2月日程】平成31年2月3日(日) 10時00分から

※試験室に9時00分から9時30分までの間に入室してください。

<試験実施時間>

専攻	時間割			
	9:30	10:00	12:00	13:30 ~
建築学	諸注意	専門科目試験	休憩	面接試験

○建築学専攻

社会人特別選抜

(1) 選抜方法

【11月日程・2月日程】

書類審査と外国語(英語: TOEIC® L&R 又は TOEFL®)試験、小論文及び面接試験により、総合的に行います。

試験科目	試験内容等
外国語 (英語)	TOEIC® L&R 又は TOEFL® の成績に関する書類を提出してください。 ※ 23ページの「12. 外国語(英語)試験」を参照してください。
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。
小論文	志望する専攻に関する小論文を書いていただきます。

(2) 試験日程等

■試験日時：【11月日程】平成30年11月18日(日) 10時00分から

【2月日程】平成31年2月3日(日) 10時00分から

※試験室に9時00分から9時30分までに入室してください。

<試験実施時間>

専攻	時間割			
	9:30	10:00	11:30	13:30 ~
建築学	諸注意	小論文	休憩	面接試験

○建築学専攻 **外国人留学生特別選抜**

(1) 選抜方法

【11月日程・2月日程】

書類審査、外国語(英語: TOEIC® L&R 又は TOEFL®)試験及び面接試験により、総合的にを行います。

試験科目	試験内容等
外国語 (英語)	TOEIC® L&R 又は TOEFL® の成績に関する書類を提出してください。 ※ 23ページの「12. 外国語(英語)試験」を参照してください。
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。(口頭試問を含む。)

(2) 試験日程等

■試験日時:【11月日程】平成30年11月18日(日)13時30分から

【2月日程】平成31年2月3日(日)13時30分から

※面接控室に12時30分から13時00分までに入室してください。

<試験実施時間>

専攻	時間割	
	13:00	13:30 ~
建築学	諸注意	面接試験

○生命情報学専攻 **一般選抜**

(1) 選抜方法

【7月日程・2月日程】

外国語(英語: TOEIC® L&R 又は TOEFL®)試験、書類審査及び面接試験により、総合的にを行います。

試験科目	試験内容等
外国語 (英語)	TOEIC® L&R 又は TOEFL® の成績に関する書類を提出してください。 ※ 23ページの「12. 外国語(英語)試験」を参照してください。
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。(口頭試問を含む)

【11月日程】

外国語(英語: TOEIC® L&R 又は TOEFL®)試験と専門科目試験、書類審査及び面接試験により、総合的にを行います。

試験科目	試験内容等
外国語 (英語)	TOEIC® L&R 又は TOEFL® の成績に関する書類を提出してください。 ※ 23ページの「12. 外国語(英語)試験」を参照してください。

試験科目	試験内容等		
専門科目	筆記試験 (各分野に共通して出題される右記の専門科目4科目の中から2科目を選択し、解答する。)	分野 ^{注1}	専門科目
		知的情報処理	情報数学 データ構造とアルゴリズム
		生命情報科学	生命情報学 機能ゲノミクス
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。		

^{注1} 分野とは、指導する教員の分野のことです。

(2) 試験日程等

■試験日時：【7月日程】平成30年7月1日（日）13時30分から

【2月日程】平成31年2月3日（日）13時30分から

※面接控室に12時30分から13時00分までに入室してください。

<試験実施時間>

専攻	時間割	
	13:00	13:30 ~
生命情報学	諸注意	面接試験

■試験日時：【11月日程】平成30年11月18日（日）10時00分から

※試験室に9時00分から9時30分までの間に入室してください。

<試験実施時間>

専攻	時間割			
	9:30	10:00	11:30	13:30 ~
生命情報学	諸注意	専門科目試験	休憩	面接試験

○生命情報学専攻

社会人特別選抜

(1) 選抜方法

【11月日程・2月日程】

書類審査、小論文及び面接試験により、総合的にを行います。

試験科目	試験内容等
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。
小論文	志望する専攻に関する 800 字程度の小論文を書いていただきます。

(2) 試験日程等

■試験日時：【11月日程】平成30年11月18日（日）10時00分から

【2月日程】平成31年2月3日（日）10時00分から

※試験室に9時00分から9時30分までに入室してください。

<試験実施時間>

専攻	時 間 割			
	9:30	10:00	11:30	13:30 ~
生命情報学	諸注意	小論文	休憩	面接試験

○生命情報学専攻

外国人留学生特別選抜

(1) 選抜方法

【11月日程・2月日程】

書類審査、外国語(英語: TOEIC® L&R 又は TOEFL®)試験及び面接試験により、総合的にを行います。面接試験は論文など(原文が日本語又は英語以外で作成されている場合は、日本語又は英語の抄訳も添付)に代えることができます。

試験科目	試験内容等
外国語 (英語)	TOEIC® L&R 又は TOEFL® の成績に関する書類を提出してください。 ※ 23ページの「12. 外国語(英語)試験」を参照してください。
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。

(2) 試験日程等

■試験日時：【11月日程】平成30年11月18日（日）13時30分から

【2月日程】平成31年2月3日（日）13時30分から

※面接控室に12時30分から13時00分までに入室してください。

<試験実施時間>

専攻	時 間 割	
	13:00	13:30 ~
生命情報学	諸注意	面接試験

○システム生体工学専攻

一般選抜

(1) 選抜方法

【7月日程】

外国語(英語: TOEIC® L&R 又は TOEFL®)試験、書類審査及び面接試験により、総合的にを行います。

試験科目	試験内容等
外国語 (英語)	TOEIC® L&R 又は TOEFL®の成績に関する書類を提出してください。 ※ 23ページの「12. 外国語(英語)試験」を参照してください。
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。(口頭試問を含む)

【11月日程・2月日程】

外国語(英語: TOEIC® L&R 又は TOEFL®)試験と専門科目試験、書類審査及び面接試験により、総合的に行います。

試験科目	試験内容等		
外国語 (英語)	TOEIC® L&R 又は TOEFL®の成績に関する書類を提出してください。 ※ 23ページの「12. 外国語(英語)試験」を参照してください。		
専門科目	筆記試験 (各分野から出題されるシステム生体工学の基礎に関する問題(専門科目5科目)の中から3科目を選択し、解答する。)	分野 ^{注1}	専門科目
		システム 神経工学	回路工学 ^{注2} 生理学・生体情報工学
		生体情報計測 システム	生体計測工学
		生体機能制御 システム	制御工学 信号処理
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。		

^{注1} 分野とは、指導する教員の分野のことです。

^{注2} 回路工学は電気回路と電子回路の内容を含みます。

(2) 試験日程等

■試験日時: 【7月日程】平成30年7月1日(日) 13時30分から

※面接控室に12時30分から13時00分までに入室してください。

<試験実施時間>

専攻	時間割	
	13:00	13:30 ~
システム生体工学	諸注意	面接試験

■試験日時: 【11月日程】平成30年11月18日(日) 10時00分から

【2月日程】平成31年2月3日(日) 10時00分から

※試験室に9時00分から9時30分までに入室してください。

<試験実施時間>

専攻	時間割			
	9:30	10:00	11:30	13:30 ~
システム生体工学	諸注意	専門科目	休憩	面接試験

○システム生体工学専攻

社会人特別選抜

外国人留学生特別選抜

(1) 選抜方法

【11月日程・2月日程】

書類審査、外国語(英語: TOEIC® L&R 又はTOEFL®)試験及び面接試験により、総合的に行います。面接試験は論文など(原文が日本語又は英語以外で作成されている場合は、日本語又は英語の抄訳も添付)に代えることができます。

試験科目	試験内容
外国語 (英語)	TOEIC® L&R 又は TOEFL® の成績に関する書類を提出してください。 ※ 23ページの「12. 外国語(英語)試験」を参照してください。
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。

(2) 試験日程等

■試験日時: 【11月日程】平成30年11月18日(日) 13時30分から

【2月日程】平成31年2月3日(日) 13時30分から

※面接控室に12時30分から13時00分までに入室してください。

<試験実施時間>

専攻	時間割	
	13:00	13:30 ~
システム生体工学	諸注意	面接試験

○生物工学専攻

一般選抜

(1) 選抜方法

【7月日程】

外国語(英語: TOEIC® L&R 又は TOEFL®)試験、書類審査及び面接試験により、総合的に行います。

試験科目	試験内容等
外国語 (英語)	TOEIC® L&R 又は TOEFL® の成績に関する書類を提出してください。 ※ 23ページの「12. 外国語(英語)試験」を参照してください。
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。

【11月日程・2月日程】

外国語(英語: TOEIC® L&R 又は TOEFL®)試験と専門科目試験、書類審査及び面接試験により、総合的に行います。

試験科目	試験内容等
外国語 (英語)	TOEIC® L&R 又は TOEFL® の成績に関する書類を提出してください。 ※ 23ページの「12. 外国語(英語)試験」を参照してください。

試験科目	試験内容等
専門科目	筆記試験（各分野に共通して出題される生物工学の基礎に関する全問題に解答する。）
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。

（２）試験日程等

■試験日時：【7月日程】平成30年7月1日（日）13時30分から

※面接控室に12時30分から13時00分までに入室してください。

<試験実施時間>

専攻	時間割	
	13:00	13:30 ~
生物工学	諸注意	面接試験

■試験日時：【11月日程】平成30年11月18日（日）11時00分から

【2月日程】平成31年2月3日（日）11時00分から

※試験室に10時00分から10時30分までに入室してください。

<試験実施時間>

専攻	時間割			
	10:30	11:00	12:00	13:30 ~
生物工学	諸注意	専門科目試験	休憩	面接試験

○生物工学専攻

社会人特別選抜

外国人留学生特別選抜

（１）選抜方法

【11月日程・2月日程】

書類審査及び面接試験により、総合的に行います。

試験科目	試験内容
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。

（２）試験日程等

■試験日時：【11月日程】平成30年11月18日（日）13時30分から

【2月日程】平成31年2月3日（日）13時30分から

※面接控室に12時30分から13時00分までに入室してください。

<試験実施時間>

専攻	時間割	
	13:00	13:30 ~
生物工学	諸注意	面接試験

9. 試験会場

前橋工科大学（試験室等は当日に1号館正面掲示板に掲示します。）

10. 合格発表

（1）発表日

【7月日程】 平成30年7月13日（金）

【11月日程】 平成30年11月30日（金）

【2月日程】 平成31年2月13日（水）

（2）発表方法

合格者には「合格通知書」及び「入学関係書類」を送付します。また、合格者の受験番号は本学ホームページ(<http://www.maebashi-it.ac.jp>)で合格発表日の正午をめぐりに掲載しますが、合格通知書の送付をもって正式通知とします。なお、電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

11. 入学手続き

（1）入学手続き期間

【7月日程】 平成30年7月23日（月）まで

【11月日程】 平成30年12月7日（金）まで

【2月日程】 平成31年2月19日（火）まで

（2）入学手続き方法

入学手続き書類を「郵送」又は「持参」により提出してください。

① 郵送の場合は、必ず簡易書留・速達とし、手続き期間最終日の17時00分必着です。

② 持参の場合の受付時間は、平日の9時00分から17時00分まで

注 郵送・持参のいずれの場合も、上記までに入学手続きが完了しない場合は、入学辞退者として扱います。

（3）入学手続き先

10～11ページの「**5. 出願**（3）出願先」と同じ

（4）入学手続きに必要なもの

① 振込金受領書〔入学金〕【原本】：書類提出前に金融機関で納入してください。

② 本学の受験票（又は合格通知書）

③ 入学手続き案内で指示するもの

（1）誓約書（本学所定用紙）

（2）学生調査票（本学所定用紙）－（1）の裏面

（3）カラー写真 2 枚（ヨコ 3 cm×タテ 4 cm。1 枚は学生調査票に貼付。）

（4）住民票の写し（本籍・続柄は表示不問。マイナンバー（個人番号）が記載されていないもの。）

①、②は手続き完了後返却します。

※ 入学許可書の発行をもって、入学資格が発生します。

(5) 入学手続上の注意事項

- ① 期間内に手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- ② 必要な書類がすべてそろっていない場合は受け付けませんので、書類提出の際には十分確認をしてください。また、入学手続期間を過ぎて到着したものは受け付けませんので、郵送の場合には所要日数を十分に考慮して発送してください。
- ③ 入学料を納入した場合でも入学手続に必要な書類は、所定の期日までに必着していなければなりません。
- ④ 卒業(修了)見込み又は学位授与見込みで出願・合格し、入学手続きを完了した場合でも、平成31年3月31日までに卒業(修了)又は学位授与されないことが判明した場合には、入学資格を失います。
- ⑤ 社会人特別選抜入試で出願・合格した場合は、入学手続時に本学所定の在職証明書を提出していただきます。提出が出来ない場合には入学資格が失われます。
- ⑥ 入学手続完了後、やむを得ない理由で入学を辞退する場合は、至急本学に連絡し、平成31年3月31日【必着】までに所定の入学辞退届を提出してください。
- ⑦ 一度受け付けをした入学手続書類及び納入された入学料は、どのような理由があっても返還しません。

12. 外国語(英語)試験

TOEIC® L&R 又は TOEFL® の成績を換算したものを外国語(英語)試験の得点とします。

1. 提出書類について

TOEIC® (公開テスト)^{注1}のTOEIC® L&R 公式認定証又はTOEFL® (TOEFL-iBT®) 公式スコア票^{注2}のいずれか1つを入学願書締切日までに提出してください。^{注3}試験日から起算して2年以内に受験したものに限りします。

^{注1} 本学で実施するTOEIC®-IP (団体特別受験制度) のスコア票も公式認定証と同等として認めます。本学の学生以外の方も利用できますので、受験希望者は、開催スケジュールを前橋工科大学学生協で確認してください。

なお、書類提出には時間がかかりますので、十分余裕をもって準備してください。

○ 問い合わせ先 : 前橋工科大学学生協 電話 027-287-4611

^{注2} TOEFL®には、2種類のスコア票があります。受験者宛に送られてくる受験者用控えスコア票(Examinee Score Record)は認めません。米国ETSから直接本大学に送られてきた公式スコア票(Official Score Report)のみ認めます。

^{注3} 公式認定証や公式スコア票の発行には、受験後約1ヶ月かかります。入学願書締切日までに本学必着で提出できるよう、十分余裕をもって受験してください。

2. 換算方法について

(ア) TOEIC® L&R^{注1} 公式認定証を提出した場合
[TOEIC® L&R得点 → 英語得点]

換算方法：

○TOEIC®L&R得点 $\geq$ 700 の場合は、100点とします。

○TOEIC®L&R得点 $<$ 700 の場合は、下記の計算式から英語得点を換算します。

英語得点 = TOEIC® L&R得点 $\times$ (100 / 700)

小数点第3位を四捨五入して小数点第2位の得点換算となります。

(イ) TOEFL®公式スコア票を提出した場合

[TOEFL®得点 → 英語得点]

換算方法：

○TOEFL®得点 ≥ 76 の場合は、100点とします。

○TOEFL®得点 < 76 の場合は、下記の計算式から英語得点を換算します。

英語得点 = TOEFL®得点 $\times (100 / 76)$

小数点第3位を四捨五入して小数点第2位の得点換算となります。

13. 受験上の注意事項

1. 受験者は、試験開始の30分前までに指定された試験室または面接控室に入室し、着席してください。
2. 試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、試験時間の延長は行いません。
3. 面接試験においては、開始時（13時30分）に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。
4. 該当する試験を全科目受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
5. 当日は、筆記用具を必ず持参してください。
6. 受験票は、必ず持参し、学力試験及び面接控室の机の通路側の見えやすい場所に置いてください。
7. 試験当日受験票を忘れた者は、速やかに1号館1階事務局で仮受験票の発行手続きをしてください。また、受験票は入学手続きの際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
8. 試験中に使用を許可する物は、鉛筆（シャープペンも可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能のみのもの）に限ります。
9. 試験室に入室後、携帯電話やスマートフォンの電源を切ってください。また、時計等のアラーム機能も切ってください。
10. 試験室において受験者間の物品の貸借は、一切認めません。
11. 昼食の販売は行いませんので、必要な場合は各自で準備してください。
12. 忘れ物がないように注意し、自分のゴミは持ち帰ってください。
13. 駐車場がありませんので、公共交通機関等をご利用ください。
14. 不測の事態等が生じ試験実施が困難であると判断した場合は、中止又は試験形態を変更する事があります。
15. 試験の実施に関して変更等がある場合は、本学ホームページに掲載しますので、試験前に確認してください。
16. その他必要が生じた場合は、後日通知します。

14. 入学に係る経費

	前橋市内居住者（注1）	前橋市外居住者
入 学 料	141,000円	282,000円
授 業 料（年額）	535,800円	

(注1)「前橋市内居住者」とは、入学する者または配偶者もしくは1親等の親族が平成31年4月1日において引き続き1年以上前橋市に住所を有している者とし、(平成30年4月1日から平成31年4月1日までの間、前橋市に住民登録がある者)

「前橋市内居住者」として入学料を納入した者は、入学後、平成31年4月1日以降に取得した前橋市の住民票の写し(平成31年4月1日以降に転出した者は除票)を提出してもらいます。前橋市内居住者の条件を満たしていないことが判明した場合は、差額を納入してもらいます。

※授業料等が改定された場合には、改定後の授業料等となります。

※いったん納入した入学料は、どのような理由があっても返還できません。

※その他経費は下表のとおり(改定された場合には、改定後の金額となります。)

後援会費	30,000円(他大学の出身者) 20,000円(本学出身者)
同窓会費	20,000円(本学及び前橋市立工業短期大学出身者は不要)
学生自治会費	11,000円(他大学の出身者) 10,000円(本学出身者)
災害傷害保険料	2,430円

※研究生、科目等履修生は本学出身者とはなりません。

15. 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がい等を有する等受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、下記により出願前に「3. 連絡・提出先」に連絡し、相談してください。

1. 相談期間

【7月日程】平成30年6月4日(月)から6月8日(金)まで

【11月日程】平成30年10月1日(月)から10月5日(金)まで

【2月日程】平成30年12月3日(月)から12月7日(金)まで

2. 相談方法

事前に連絡先まで電話連絡し、相談申請書(住所・氏名・性別・連絡先・志望専攻・障がいの症状及び状況・受験上、修学上特別な配慮を希望する事項・出身学校等で取られていた特別措置を明記してください:本学独自の様式のもの)及び健康診断書等必要書類を添付し、提出してください。必要な場合には本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者等との面談を行います。

3. 連絡・提出先

10～11ページの「5. 出願 (3) 出願先」と同じ

16. 個人情報の取り扱い

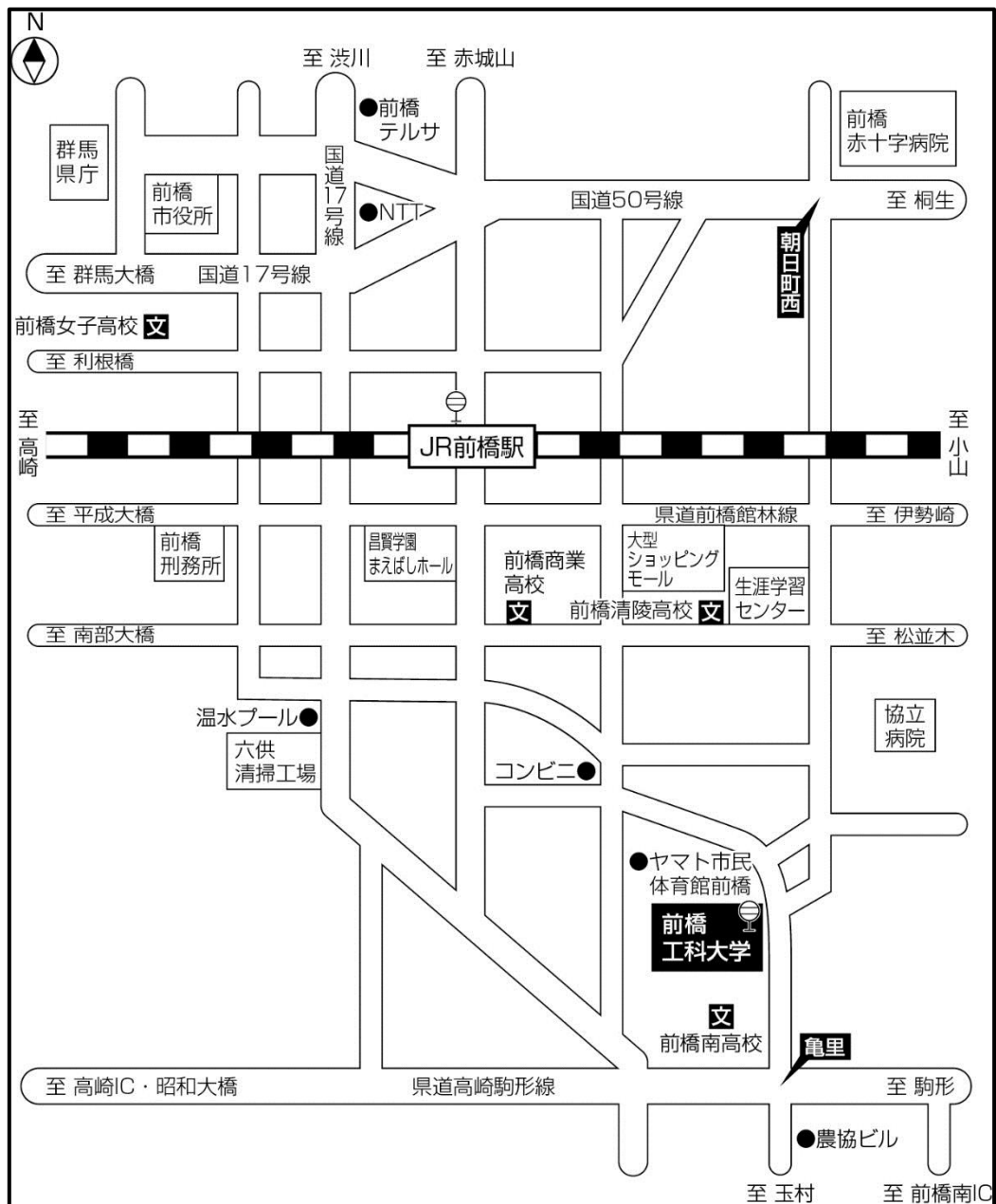
前橋工科大学では、提出された書類及び入学試験の実施により志願者の個人情報を取得しますが、これらの個人情報については、関係法令を順守し、次の目的以外には利用しません

ので予めご了承ください。

- (1) 入学者の選抜及び入学手続き業務を行うために利用します。
- (2) 統計資料の作成や今後の入学者選抜方法の検討資料を作成するために利用します。
- (3) 入学者の個人情報は、教務関係、学生支援関係及び授業料徴収業務関係の業務を行うために利用します。また、本学関連団体である前橋工科大学後援会、前橋工科大学同窓会及び前橋工科大学学生自治会において、各団体の運営に必要な範囲内で利用します。

なお、本学の上記業務にあたり、一部の業務を個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。

前橋工科大学案内図



交通機関のご案内

- バス JR前橋駅北口4番のりばから約10分「前橋工科大前」下車
〔永井バス：新町玉村線、天川原町経由下川団地線〕片道200円
- タクシー 約10分
- 徒歩 約30分